

様式第 2 7

```
<HTML>
<HEAD><TITLE>工業用水道事業法第3条第1項(第2項)
</TITLE></HEAD>
<BODY><PRE>
【書類名】工業用水道事業届出(許可申請)書
【提出日】
【あて先】経済産業大臣 殿
【提出者情報】
    【氏名又は名称】
    【住所】
【適用条文】工業用水道事業法第3条第1項(第2項)
【様式番号】001
【給水区域】
【給水能力】
【水源】
    【種別】
    【取水地点】
【添付資料】
    【事業計画書】
    【工事設計書】
    【給水区域における工業生産現況書】
    【給水区域における工業用水使用現況書】
    【工業用水道布設年次計画書】
    【建設資金調達年次計画書】
    【建設資金償還年次計画書】
    【水源選定の理由】
    【水源の水量及び水質】
</PRE></BODY></HTML>
```

備考 1. 1行は36字詰めとする。

2. 「【氏名又は名称】」の欄には、法人にあつては、名称を記録し、「【氏名又は名称】」の欄の次に「【代表者】」の欄を設けて、その欄に代表者の氏名を記録すること。
3. 「【住所】」の欄には、法人にあつては、その住所を記録し、「【住所】」の欄の次に「【代表者の住所】」の欄を設けて、その欄に代表者の住所を記録すること。
4. 文字は、日本工業規格X0208で定められている図形文字並びにX0211で定められている制御文字のうち「復帰」及び「改行」を用いることとし、図は用いてはならない。

ただし、「【】」日本工業規格X0208区点番号(以下「区点番号」という。)1-58)、「【】」(区点番号1-59)、「▲」(区点番号2-5)及び「▼」(区点番号2-7)は用いてはならない(欄名の前後に「【】」(区点番号1-58)及び「【】」(区点番号1-59)を、又は置き換えた文

字の前後に「▲」（区点番号2-5）及び「▼」（区点番号2-7）を用いるときを除く。）。

日本工業規格X0208で定められている文字以外の文字を用いようとするときは、日本工業規格X0208で定められている漢字に置き換えて記録し、又はその読みを平仮名で記録し、それらの前に「▲」（区点番号2-5）、後ろに「▼」（区点番号2-7）を付すこと。

5. 「<」、「>」又は「<」及び「>」によって囲まれた欄名は、日本工業規格X0201で定められている文字を用いること。
6. 文字の符号化表現は、日本工業規格X0208付属書1で定められている方式を用いること。
7. 「【様式番号】」の欄には、日本工業規格X0201で定められている文字を用いること。
8. 「【給水能力】」の欄には、「立方メートル/日」を単位とした数値のみを日本工業規格X0201で定められている文字を用いて記録すること。
9. 「【事業計画書】」、「【工事設計書】」、「【給水区域における工業生産現況書】」、「【給水区域における工業用水使用現況書】」、「【工業用水道布設年次計画書】」、「【建設資金調達年次計画書】」及び「【建設資金償還年次計画書】」は、それぞれ様式第2から第8までに従って記録し、表中の数値については日本工業規格X0201で定められている文字を用いること。
10. 「【工事設計書】」の設計図面は、フレキシブルディスクに記録せず、紙面により提出すること。
11. その他は、様式第2から第8までの備考と同様とする。ただし、用紙の大きさに係るものは除く。